

## 新年のご挨拶と平成26年の海難発生状況

新年明けましておめでとうございます。

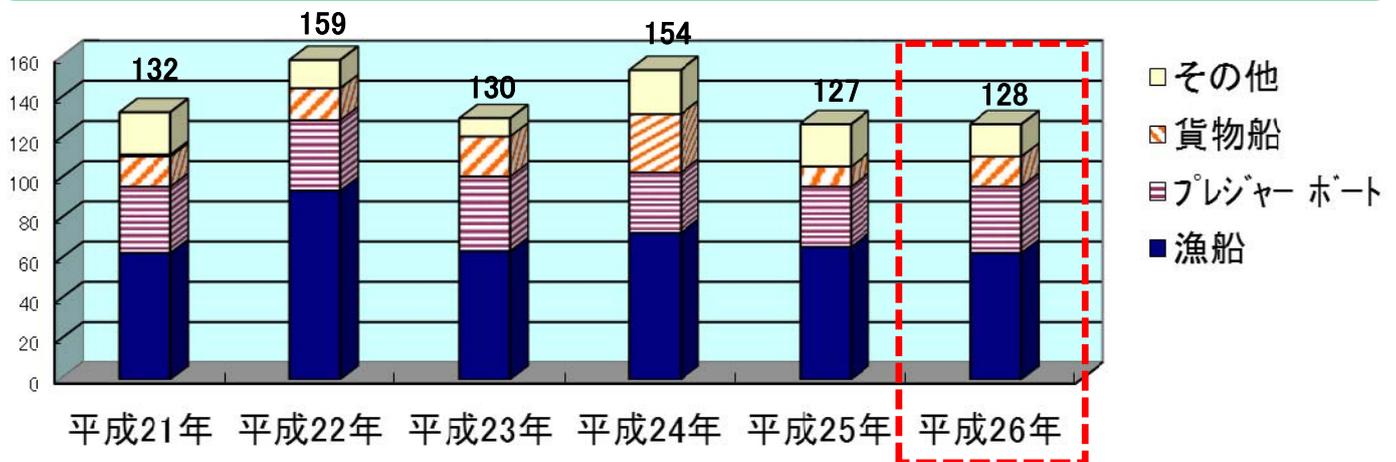
海難の未然防止を目指す本誌は、昨年8月に創刊から5年の節目を迎えることができました。皆様には、日頃から海難防止にご協力いただき感謝申し上げる次第です。

さて、平成26年に発生した北海道周辺の海難は「128隻」と、過去最少となった一昨年に次ぐ結果となりましたが、漁船・プレジャーボート等の海難が引き続き多い状況となっております。この結果を踏まえ、第一管区海上保安本部交通部では、小型船を重点に各種海難防止活動に取り組んでまいります。

本年も本誌内容を所属関係者の皆様へ広くお知らせいただけますようお願い申し上げます。

第一管区海上保安本部  
交通部長 三宅 真二

## 過去5年の海難隻数の推移



- 船舶海難の隻数は**128隻**で、過去最少の一昨年に比べ**1隻**増加。
- 船種別で一番多いのは漁船の**72隻**(一昨年比**5隻**増)、次がプレジャーボート**29隻**(一昨年同)
- 海難種類別で一番多いのは衝突の**41隻**(一昨年比**7隻**増)、次が機関故障**27隻**(一昨年比**4隻**増)
- 船舶海難による死者・行方不明者数は**11人**で、一昨年に比べ**5人**減少。

## 海水・船体着氷に注意!

今年は、平年よりも早いペースで海水が南下しており、すでに網走地方気象台から流水初接岸日が発表されています。観光者には嬉しいニュースですが、船舶運航者にとってはやっかいものの到来で、海水への衝突や推進器・舵の損傷、閉塞されることによる海水域からの脱出不能といった事態を引き起こす可能性があります。これらの海難を防止するためには、海水情報センターが発出する情報入手し、海水を避けて航行しましょう。

また、冬季においては船体が着氷してトップヘビーとなる場合があります。着氷をそのまま放置すると、船体動揺が大きくなり、また、復元しにくくなり転覆する危険がありますので、着氷を発見したら、こまめに除去するようにしましょう。



オホーツク海で撮影された海水の様子。風浪の影響を受けやすく、1日で分布位置が大きく変化することもあります。

<海水情報センターホームページ>

<http://www1.kaiho.milt.go.jp/KAN1/1center.html>

お問い合わせは **第一管区海上保安本部交通部**

電話 0134-27-0118 (内線2615, 2616)



MICSホームページ <http://www.kaiho.milt.go.jp/info/mics/>

